

世界に告げ知らせよう...

教皇フランシスコ使徒的勧告

どうして年老いた路上生活者が寒さに凍え死ぬことがあってもニュースにならず、株価が2,3ポイント下がればニュースになるのでしょうか。飢えている人がいるのに、食物が捨てられていくことを、わたしたちは見過ごしていないのでしょうか？ - (『福音の喜び』53)

第二バチカン公会議50周年を記念して始まった信仰年が、2013年11月24日、閉幕しました。この日、教皇フランシスコは、使徒的勧告『福音の喜び』を發布、第二バチカン公会議で採択された『現代世界憲章』を新たに学び直し、喜びをもって世界に福音を告げ知らせよう、と呼び掛けました。

ここには、わたしたちすべてのキリスト者が希望のしるしとなるために、いま何を行うべきかが示されています。それは、教会がわたしたちのまことの憩いの我が家となるよう刷新の勇気を持つこと、世界にまん延する弱い人々を排除し自然を崩壊させる経済システムを根本的に改革するために働くこと、わたしたちと異なる文化や価値を持つ人びとと平和的な対話を行うこと、などです。

わたしたち一人ひとりが、この使徒的勧告から出発して、さらに具体的な行動を起こしていきましょう。

開会挨拶：幸田 和生司教

司会：松浦 悟郎司教

シンポジスト：

マイケル・シーゲル神父 (神言会)

ホアン・マシア神父 (イエズス会)

光延 一郎神父 (イエズス会)

2014 **6/28** (土) 13:30~16:00 (開場 13:00)

カトリック麹町 聖イグナチオ教会

ヨセフホール (東京・JR 四谷駅下車 2分)

無料 (会場献金あり) どなたでもご参加いただけます



シンポジウム